

光給電型水晶式水位計QWP Fシリーズ発売開始



デジタル復調器QWP-DP3F

水位センサQWP-6-EF

信頼性と品質で30年以上の実績のある明星電気の水晶式水位計に、新たに耐雷性に優れた光給電型水晶式水位計を加え、その販売を開始します。

業界最小クラス・最高精度を誇る水位センサ(QWP-6-EF)とデジタル復調器(QWP-DP3F)を結ぶ電源線および信号線に雷の影響を受けない光ファイバを使用することで、落雷から機器を守り、運用コストと欠測リスクを大幅に低減します。また、マイクロSDカードやUSBメモリポート・LANポートを標準で備えているので、観測データの保存・回収やネットワーク対応が容易になります。

明星電気は、水管理システムにおいて業界最先端の技術を開発し、優れた製品を提供することでお客様の信頼にお応えしていきます。

(担当: 防災事業部)

海外向け地震計G401を開発



G401処理部と計測部

1991年に気象庁様と明星電気が世界に先駆けて開発した計測震度計は、今日における日本の地震防災の発展に大きく貢献してきました。そしてこの度、明星電気はこれまで培った震度観測技術を基に、海外向け震度計G401を開発、販売を開始します。

G401は多くの国で使用されている改正メルカリ震度階級(The Modified Mercalli Intensity Scale)を演算し、ネットワークを通じて算出された震度や加速度波形を伝送する震度計です。処理部と計測部の防塵防水筐体により、海外の過酷な観測環境にも耐え、地震防災において重要な情報を確実に伝送します。

明星電気は、蓄積された技術をさらに進化させ、海外の地震防災対策の発展にも貢献していきます。

(担当: 防災事業部)

内閣府「防災4.0」遂行作戦にPOTEKAデータ提供



イベント会場の様子

1月21日、22日にYahoo!JAPAN「LODGE」において開催された内閣府主催の「防災4.0」遂行作戦に、POTEKAデータの提供を通じ協賛しました。

「防災4.0」は度重なる大震災から次の災害リスクへの備えを検討する目的で、内閣府が設置した有識者会議です。今回実施された遂行作戦は、エンジニア、デザイナーを始め一般市民が自由に参加してグループを組み、2日間のうちに防災サービスアプリを制作するハッカソンと呼ばれるイベントです。明星電気は、POTEKAのリアルタイム気象データと過去の災害発生時の観測データをイベント期間内限定で提供しました。参加者は協賛企業から提供されたデータベースを独自のソフトウェアにリンクさせ、新しい視点での防災アプリを続々と作成、最後に行われたプレゼンテーションも大変盛り上がりしました。

明星電気は防災技術を通じて社会に貢献できる製品とサービスを提供していきます。

(担当: 気象・管制事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。